

## こどもの食物アレルギー研修会（オンライン） を開催しました

2024年2月16日に、県内の保育施設・幼稚園、小中学校の教職員、児童福祉施設職員と消防職員を対象にこどもの食物アレルギー研修会をオンラインで開催し、186名の方に参加いただきました。講師は、宮城県立こども病院アレルギー科の山口医師と宮林医師が務めました。この研修会は、2023年12月から2024年1月にかけて対面で開催したこどもの食物アレルギー出張研修会の企画の1つで、食物アレルギーに対する正しい知識と緊急時対応の技術を習得することを目的に実施しました。

山口先生の講義では、食物アレルギーの病態と治療についてお話いただき、食物アレルギーの種類やその症状について、データを交えながら解説いただきました。また、食物アレルギーの治療の原則は正しい診断に基づいた必要最低限の原因食物の除去であるが、施設では完全除去が基本となり、自宅での対応とは異なる点についても詳しく説明いただきました。

続いて宮林先生の講義では、アナフィラキシーと緊急時の対応についてという内容でまずアナフィラキシーについて説明いただいた後、エピペン®の効果と使用するタイミングや使用手順についてお話いただきました。使用するタイミングについては、クイズ形式の動画を流しエピペン®を打つ適切なタイミングについて参加者が考える時間もあり、より理解を深めることができました。

最後は質疑応答の時間を設け、参加者からは非常に多くの質問が寄せられました。参加者からは、緊急時の対応に不安を感じていたが今回参加したことで今後自信をもって対応出来そうだった声や、職員間で共有し施設内の体制を整えていきたいといった感想が寄せられました。

こどもと接する機会の多い現場で働く職種の皆さんは、食物アレルギー児が増えていることを普段から実感されているようで、今後も継続的な研修会の開催を通じて支援が必要だと感じました。

2024年2月16日  
宮城県アレルギー疾患連携推進事業委員会  
こどもの食物アレルギー研修会

### 食物アレルギーの病態と治療について

宮城県立こども病院 アレルギー科  
山口 祐樹

1

2024年2月16日  
宮城県アレルギー疾患連携推進事業委員会  
こどもの食物アレルギー研修会

### アナフィラキシーと緊急時の対応

宮城県立こども病院 アレルギー科

宮林 広樹